

今月の工場

三和整備のお盆準備



今年もお盆休業前に、工場の床塗りや工場内外のラインの引き直しをしました(*'▽')
 気温も湿度も高い中、汗をかきながら、たまに冗談を言い笑い合いながら、みんなで楽しく作業をしました♪
 しっかり二度塗りして、つやつやの床になりました☆



会社事務所外の社旗を新品のものと交換しました(^)/



三和整備のお盆

三和整備の社員はお盆も元気に安全に過ごしました!(*^^*)



みなさん近場から遠くまでお出かけ♪
 観光やイベントを楽しんだり、
 おいしいご飯を食べたりと
 お盆休みを満喫しました(*'ω'*)



休み明けからまた元気にお仕事頑張りましょう('ω')ノ



編集後記

三和整備の干場です(^)/お盆が明けても暑い日が続いております...
 もう今後は四季ではなく二季になるなんて言われたりもしていますね(*_*)
 暑いと集中力も低下しやすいので、怪我事故には十分お気を付けてください!



Sunwaの 吊りバカ通信

安全・安心・感動を提供し続けます。



”忘己利他の精神”

相手の事を考えて行動する

T061-1102

北広島市西の里322番地6

株式会社三和重機

TEL 011-375-4444

FAX 011-375-4455



<http://www.sunwa-gp.co.jp>

株式会社三和整備

TEL 011-375-4477

FAX 011-375-4448



『厚別公園競技場の照明車』

～高所照明車4台で競技場を明るく照らす～

コンサドーレさんの試合や各スポーツ競技が行われた厚別公園競技場の高所照明車の稼働に、年月を数えると、27年間、三和重機のオペレーター、ドライバー、営業担当者など携わっておりました。選手の皆さんのプレーも、しっかりと出来るように、応援しているお客様も、安全に帰れるように、など、雨の日も風の日も、夜遅くまで、照明を照らしておりました。照明が点かなくなったら、一大事です。事前の点検や、準備に緊張感が走りましたが、誇りある仕事の一つでした。そんな厚別公園競技場が来年、改修工事に入るとのことです。先日の照明業務が最後となりました。多くの思い出がある厚別競技場です。三和重機大変お世話になりました。本当にありがとうございました。





『クレーン部門 安全大会』

再発防止と知識の習得

月に1回、安全大会を実施しております。事故災害事例、ヒヤリハット事例を基に再発防止策を討議します。




『玄関前にのぼり旗』

札幌地区トラック協会様からのぼり旗が届いたので早速掲げました。


『運転はゆとりとマナーの二刀流』

『心のゆとり 示すあなたの車間距離』



『週1回のお楽しみ♡』

先日、移動販売で会社に来てくれたラ・パンさん。たまに、食パンを買っていたので、パンの美味しさは知っていたのですが、朝一の『作り立てのサンドイッチです』と沢山の種類が目の前に。思わず手に取りますよね～。このパン、耳まで柔らかくて美味しいんだよね～。毎週来てくれるみたいなので、週1回の楽しみになりそうです。



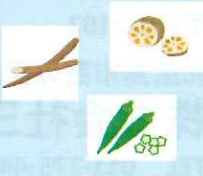
あたまの体操 簡単漢字読みクイズ

『陸蓮根』

この漢字は、何の野菜を表しているでしょう？

- ①レンコン
- ②ごぼう
- ③オクラ

前回のこたえ 蚊(か)



私たちが掲げた『安全スローガン』

安全は基本動作と正しい手順、確認からオペレーター 永原清博 さん

ケガなく事故なく安全にドライバー 安藤利幸 さん

丁寧にひとつ一つを確認オペレーター 茶円孝弘 さん

安全に大小も無い事を心がける三和整備メカニック 青野勝美 さん




物流事業 様々な組み合わせでお客様にあった輸送を致します。

重量及び高さ制限がある貨物輸送には、低床トレーラー。長さ制限がある貨物に対しては、ポールトレーラー。などあらゆる貨物に対応したトレーラーを要し、幅広い貨物輸送を行います。

主な輸送品目

- 風車タワー、風車ブレード、レール、橋桁、燃料タンク、電車(市電、SL、新幹線等)、建設機械(クレーン、ショベル等)、トランス(精密機械)、鉄鋼製品(鉄柱)、プラント、サイロ、照明柱 など








今月の打ち合わせ風景

採用情報

- ・クレーンオペレーター
- ・ドライバー
- ・営業

私たちと一緒に働ませんか？

未経験者育成制度・資格取得制度あります。お客様のお役に立ちたい、仕事を通してもっと成長したいという方にピッタリの会社です。

□未経験者の方 給与：220,000～

□経験者の方 給与：350,000以上可(経験・年齢によって処遇)

各社保完備、車通勤可、制服貸与、交通費規定支給

Zoomやラインでの面接も受付可能です。



今月の寓話 ～寓話から学ぶ～ 買い物をする母と娘

ある女性がスーパーマーケットで買い物をしていると、一緒にいた幼い子どもが大声で泣き出した。女性は静かに言った。「あと、いくつか買うだけよ、シャロン。そうすれば終わりだから」しかし、子供のかんしゃくはおさまらず、さっきより大きな声で泣き叫んだ。それでも母親は穏やかに言った。「さあ終わったわ、シャロン。あとはお金を払うだけよ」子どもはレゾのところで、さらに激しく泣きわめいた。母親は落ち着いた様子で言った。「あと少しでお願いよ、シャロン。もう車に戻れるわ」それでも泣き続ける子どもは、車に戻ってからようやく泣き止んだ。若い男性が近づき、こう言った。「店にいる時から見ていました。シャロンが駄々をこねている間、あなたはずっと穏やかだったことにとても感心しました。大切なことを教えてもらった気がします」母親は男性にお礼を言うと、一言だけ付け加えた。「でも、子どもの名前はシャロンじゃないんです。私がシャロンなんです」母親が声をかけていたのは自分自身だった。他人への思いやりと同様に自分への思いやりも大事である。「今日も1日ありがとう」「毎日よくやっているよ！」「本当に頑張っているね！」など自分自身にありふれた言葉をかけてみよう！

出典：座右の寓話

教訓：自分への声かけが自分を救ってくれる

